



あいづばんげ 議会だより

役場見学に来たよ！



『やはたっ子クラブ』のみなさんが役場見学で議場を訪れました。

やはたっ子クラブは、八幡地区地域づくり協議会の「やはたっ子部会」の事業の一つです。「やはたっ子部会」の目標は、体験を通じて子どもたちの笑顔あふれる地域を目指すことです。

特に、夏休みのやはたっ子クラブでは、体験を重視した活動を行っています。これまで、県外の自動車工場や新聞社の見学、町内のあいづダストセンター、会津坂下消防署の見学、コミセンでの宿泊体験等を行い、今回は、埴輪づくり、会津坂下町役場の見学を行いました。これらの体験を通して、子どもたちが“笑顔いっぱい、元気いっぱい、夢いっぱい”のやはたっ子に成長して欲しいと願っています。

八幡地区地域づくり協議会長 関本 良（連絡先：0242-83-2619 八幡コミセン内）

199号

令和2年10月23日発行
福島県会津坂下町議会

第3回定例会（9月議会）目次

- ◆ 第3回定例会の主な審議案件 …… 2～5 P
- ◆ 決算特別委員会 …… 6～7 P
- ◆ 一般質問 …… 8～13 P
- ◆ 議会の動き 他 …… 14～15 P
- ◆ みんなのひろば・編集後記 …… 16 P

議会からの要望により、令和2年度に限り

インフルエンザ予防接種料金 約半額助成

第3回 (9月) 定例会

9月3日から9月15日までの13日間の会期で開催され、人事案件3件、条例改正他9件、令和元年度決算8件、令和2年度補正予算7件、合計27件の議案が町長より提出され、全て可決・認定されました。また、9月10日、11日は決算特別委員会を開き、令和元年度一般会計及び各特別会計決算について審議しました。本定例会中、請願3件が各常任委員会に付託され、そのうち2件が採択となり、関係機関へ意見書を提出することとなりました。以下、主な内容についてお知らせします。

去る5月8日に議会より「新型コロナウイルス対策に関する要望書」を町に提出しました。今後インフルエンザの流行期と重なった場合、医療現場の負担や困難は必至で、医療崩壊を招きかねないことから、全町民を対象としたインフルエンザ予防接種の助成制度及び民間医療機関が行う対策に関する支援策を検討することの内容を追加した要望書を7月17日に町に提出しました。その結果、令和2年度に限り、生後6ヶ月から64歳までの方についても助成対象となりました。

(関連内容P14参照)



- 対象 生後6ヶ月以上の全町民
- 助成期間 10月1日～令和3年1月31日
- 助成額 2,520円
 - ※接種料金から助成額を除いた金額を医療機関にお支払ください。
 - ※生活保護世帯は無料（事前に町福祉健康班への申請が必要です。）
 - ※高齢者施設など集団で受ける場合は1,730円を助成します。
 - ※13歳未満は2回接種（2回分助成されます。）
- 実施場所 両沼郡医師会、会津若松医師会、喜多方医師会所属の医療機関（65歳以上は県内医療機関で受けられます。）
 - ※予診票は医療機関に備え付けてあります。
 - ※事前の申請などは必要ありません。

子どもたちの教育設備を整える (GIGAスクール構想)

2019年12月、文部科学省が打ち出した「GIGAスクール構想」新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言を受け、この構想を早期実現するための支援などを積極的に推進すると表明しました。GIGAスクール構想とは「児童生徒向けの一人一台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現される構想です。

これからの時代を生きる子どもたちにとって、ICTを基盤とした最先端技術の活用は必須です。パソコンを活用した学校教育のあり方について、今後議論を深める必要があります。



令和2年度一般会計補正予算（第6号）の主な内容

会計名	補正前	補正額	補正後
一般会計 補正予算（第6号）	90億 2,677万8千円	3億 5,959万1千円	93億 8,636万9千円

＜歳出事業（新型コロナウイルス感染症対策関連）の主な内容＞

- ①インフルエンザ予防接種助成（0歳から64歳までの方分）…………… 15,089千円 **増**
- ②子育て支援事業でのマスク、消毒液、遊具、図書の購入等…………… 3,317千円 **増**

＜歳出事業（GIGAスクール関連）の主な内容＞

- ③情報通信ネットワーク工事費（小学校2校、中学校）…………… 62,103千円 **増**
- ④情報通信ネットワーク環境設定等…………… 30,654千円 **増**
- ⑤タブレット、モバイルルーター、カメラ、マイク等購入…………… 35,495千円 **増**

＜歳出事業（その他）の主な内容＞

- ⑥地域おこし協力隊雇用（12月から）…………… 1,440千円 **増**
- ⑦ロタワクチンの定期接種（予防接種法の改正のため）…………… 995千円 **増**
- ⑧熊、イノシシ等有害鳥獣対策事業…………… 518千円 **増**
- ⑨道路整備事業…………… 3,900千円 **増**
- ⑩南小学校非常階段及び東小学校廊下修繕等…………… 4,112千円 **増**
- ⑪中学校体育館雨漏り調査及び修繕…………… 618千円 **増**
- ⑫旧中岩田団地用地測量、登記業務委託…………… 506千円 **増**
- ⑬予備費…………… 34,934千円 **増**



藤田義則氏



春日芳則氏

◆人権擁護委員とは？
人権擁護委員は、地域の皆さんから人権相談を受け、問題解決のお手伝いをしたり、法務局の職員と協力して人権侵害から被害者を救済したり、また地域の皆さんに人権について関心を持ってもらえようとする啓発活動を行ったりしています。

春日芳則氏（再任）【御池田】
藤田義則氏（新任）【大沢】の選任に同意しました。
任期は令和3年1月1日から3年間で
す。（全員賛成で同意）

人事案件 「人権擁護委員」



人事案件 「教育委員会委員」

◆教育委員会委員とは？
地方公共団体の長の被選挙権を有する者（満25歳以上の者）で、人格が高潔で教育や学術、文化に関して識見を有する者のうちから、地方公共団体の長が議会の同意を得て任命します。

内海真喜子氏（新任）【船窪】の選任に同意しました。
任期は令和2年10月1日から4年間
です。（賛成多数で同意）

第3回定例会その他の主な内容

条例

会津坂下町議会議員及び会津坂下町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例

公職選挙法の一部を改正する法律で、町村議会議員選挙及び町村長選挙における「選挙運動用自動車・ビラ・ポスター」等について、公費負担の対象とすることができるとされた。

(全員賛成で可決)

会津坂下町税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正と、新型コロナウイルス感染症等特例措置に伴う、関係条文の改正。

(全員賛成で可決)

会津坂下町手数料徴収条例の一部を改正する条例

情報通信の技術の利用に関する法律等の一部を改正する法律により、個人番号通知カードの再発行が行われなくなったことに伴い、手数料を廃止するための所要の改正。

(全員賛成で可決)

その他

会津若松地方広域市町村圏整備組合規約の変更について

組合の消滅費に係る構成市町村の負担割合について、市町村合併後15年度間認められていた地方交付税の合併算定替の終了に伴い、負担割合の算定方法を見直すため。

(全員賛成で可決)

会津若松地方土地開発公社の解散について

昭和48年の設立以来、10市町村における土地の先行取得等を実施してきましたが、平成27年度以降の実績がなく、構成市町村の今後の利用計画もないため、令和2年度に解散する。

(全員賛成で可決)

財産の取得について

新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金を活用し、コロナ禍において自然災害が発生し避難を要する場合に、防災用資器材として「避難所用段ボール製簡易ベッド」「避難所用パーテーション」を、それぞれ850セット購入。

(全員賛成で可決)

令和元年度 決算審査
(実施期間：7月14日～7月22日)

意見書には、「町民税の増収などは見られるものの、高齢化が進み将来的に税収増は見込めない。また新型コロナウイルス感染症問題が続いており、先が見通せない状況にある。依然として地方交付税、国県支出金や地方債に頼った財政運営が続いている。

しかし、財政調整基金が順調に積み立てられ、財政健全化法に基づく健全化判断比率、将来負担比率は昨年に引き続き大幅に改善されている。

これまで実施されてきた行財政改革プランに基づき、その目標に向けて進んでいる。長期間必要とする財政改革の進め方については、財政が厳しくとも行政運営に対する町民満足度と財政出動の両立が不可欠である」との内容が記載されています。



写真(上) 避難所に完備する段ボール製簡易ベッド



写真(下) 町長に決算審査の意見書を渡す仙波代表監査委員と酒井議員

請 願 の 審 査

請願番号	受理年月日	件名	請願者氏名	紹介議員	付託委員会	審査結果
第3号	令和2年8月26日	日本政府に核兵器禁止条約の調印・批准を求める意見書提出に関する請願書	田村郡三春町上舞木字明部作16-30 福島県原爆被害者協議会 会長 木幡 吉輝	五十嵐一夫 小畑 博司	総務産建	不採択
第4号	令和2年8月27日	新型コロナウイルス対策に支援を求める意見書の提出を求める請願について	福島県河沼郡会津坂下町大字大沖字上野1170-1 会津の大地と健康を守る会 代表 千葉 親子	横山 智代 佐藤 宗太	文教厚生	採択
第5号	令和2年9月2日	県立高等学校改革における坂下高等学校・大沼高等学校の統合・再編について地域実態に合った統合・再編にするために継続協議を求める請願書	福島県河沼郡会津坂下町大字白狐字古川甲1090番地 福島県立坂下高等学校 同窓会長 渡辺 東助	酒井 育子 佐藤 宗太	文教厚生	採択

討 論



反対

横山智代議員

「日本は世界で唯一の被爆国」です。核兵器が存在する限り世界は安全ではありません。福島は原発事故により多くの人々が困難な状況にあります。核兵器（核）なくせは被爆者の心からの願いです。次の世代の子どもたちに安全安心な明るい未来を手渡してあげなければなりません。

反対

小畑博司議員

中学生の教科書において「被爆国日本の役割」として「非核三原則をかかげ、核兵器の廃絶と軍縮によって世界平和を推進することが、国際社会で日本が果たすべき役割である。」と学んでいます。人は教科書通りには生きられないとしても、核兵器の廃絶は人類共通の悲願であります。

反対

五十嵐一夫議員

核兵器廃絶は人間の悲願ではないでしょうか。日本は唯一の被爆国であり、被ばく者は今も苦しんでいます。平和な世の中、安心な世の中に向かっていくには核廃絶もその一環です。政府に核兵器禁止条約の参加、調印、批准を求める意見を届けることは意義ある行動だと思うため、委員長報告に反対します。

賛成

赤城大地議員

請願の内容については一定の理解を示しますが、内容に賛同すること、議会として採択か不採択かを決めるのは別物です。条約の締結は内閣の専権事項であることなどをふまえて考えれば、この請願内容は地方自治法第99条が定める地方議会が意見書を提出できる基準にそぐわないと思われるため委員長報告に賛成します。

賛成

渡部正司議員

現国際安全保障環境で交渉を通じてきた核拡散防止条約（NPT）と本条約は「核兵器のない世界」という目標を共有しています。オバマ前大統領はノーベル平和賞を受賞しましたが、臨界前核実験を行った現実があります。各保有国が参加するNPTによる漸進的な不断の努力を強力に進め分断なき本条約を見据えてもらいたい。

賛成

渡部順子議員

今核開発を続けている北朝鮮の脅威、そして同盟国であるアメリカの傘の下にあるという事実。そして、核軍縮は核保有国と非保有国が一緒になって段階的に進めないと意味がないという理由から委員長報告に賛成します。

請願第3号委員長報告の「不採択」に対する討論